

1. 件名：実施計画の審査の進捗状況等に係る面談
2. 日時：令和5年5月30日（火）14時00分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

大辻室長補佐、新井安全審査官、石井係長、塩唐松係長、椎名係長、高橋係員
長官官房 技術基盤グループ システム安全研究部門

森上席調査官、菱田安全技術専門職

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 担当7名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 担当3名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料に基づき、以下の説明があった。

- 福島第一原子力発電所におけるコンクリートキャスク導入の検討について
- 特定原子力施設監視・評価検討会の議題について
- 特定原子力施設の実実施計画の審査等に係る技術会合の議題について
- 実施計画変更認可申請の状況及び今後の申請予定について
- 特定原子力施設の設備機器の解体撤去における実施計画変更認可申請の対応について

○原子力規制庁は、上記説明内容について東京電力と認識を共有するとともに、以下のコメントを伝えた。

- 特定原子力施設監視・評価検討会の議題について
 - ✓ 第12回原子力規制委員会（令和5年5月24日）で議論があった1号機ペDESTALの上部構造物が沈下した場合の影響等についての評価については次回の特定原子力施設の実実施計画の審査等に係る技術会合（以下「技術会合」という。）で説明するとともに、次回の特定原子力施設監視・評価検討会においても報告すること。
 - ✓ 廃棄物保管施設の設計に向けた方針については、特定の施設・設備のみでなく、脱水物・回収物・吸着材・HICの保管に向けた全体的な方針に係る資料として示すこと。
- 特定原子力施設の実実施計画の審査等に係る技術会合の議題について
 - ✓ 第11回技術会合の議題として挙げられている除染装置スラッジ回収装置の審査状況及び放射性物質分析・研究室第2棟の審査状況について、技術会合に向け資料を準備し、面談にて検討状況を説明すること。
- 特定原子力施設の設備機器の解体撤去における実施計画変更認可申請の対応について
 - ✓ 解体撤去に関して追記箇所は「Ⅱ 特定原子力施設の設計, 設備」ではなく、「Ⅲ 特

定原子力施設の保安」が適切と思われるため検討すること。

- 実施計画変更認可申請の状況及び今後の申請予定について
 - ✓ 使用済燃料乾式キャスク基数の変更及び収納可能燃料の追加に係る申請について、当該キャスク設置場所の増設に係る申請から分離した状態で本年 9 月までに認可を得たいのであれば、直近の面談から既に 2 か月ほど経過しているため、速やかに資料を準備してその説明を再開すること。

○東京電力から、上記コメントについて了解した旨回答があった。

○東京電力から、コンクリートキャスク導入にあたり原子力規制庁と個別に面談したい旨発言があり、原子力規制庁から了解した旨回答した。

○原子力規制庁は東京電力から、耐震重要施設の周辺斜面による波及影響に係る資料及び令和 5 年 5 月 19 日の面談で依頼した、ALPS による処理前後の液相の放射能濃度測定データ（ALPS（炭酸塩共沈プロセス）の処理前後濃度等）の提供を受けた。

6. 資料

- 福島第一原子力発電所におけるコンクリートキャスク導入の検討について
- 特定原子力施設監視・評価検討会の議題について
- 特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合の議題について
- 実施計画変更認可申請の状況及び今後の申請予定について
- 特定原子力施設の設備機器における解体撤去について
- 【資料提供のみ】2021～2023 SARRY 等 & ALPS 処理前後の分析結果
- 【資料提供のみ】耐震重要施設の周辺斜面による波及影響について（地滑り）

（参考）

第 12 回原子力規制委員会（令和 5 年 05 月 24 日）

<https://www.nra.go.jp/disclosure/committee/kisei/010000823.html>

特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合に係る面談（令和 5 年 05 月 19 日）

<https://www2.nra.go.jp/disclosure/meeting/FAM/140003096.html>

以上